

(様式2)

令和5年度 荘島小学校地域学校協議会プラン

1 学校の課題

- 提言① 学力に関する課題（保障・向上定着・二極化）の解決や学習習慣の定着や向上を図るために、学校・家庭・地域の連携の発展・深化を図る。
- 提言② 「チーム荘島10条」の取組を通して、基本的な生活習慣の向上、及び共感・承認・賞賛の場の設定を通し「自尊感情」「自己肯定感」「意欲」等の向上に取り組む。

2 提言の実働化に向けた具体的な取組（3者協働の場合）

具 体 的 な 取 組			
	学 校	家 庭	地 域
提言①	<ul style="list-style-type: none">○学校の重点目標に向かって「開かれた学校」を推進し「チーム荘島10条」の具体化を図る。○放課後学習（いちょう学習）やステップアップタイムの充実を図る。○読書週間の設定、読書ボランティアによる読み聞かせ等を通じて、読書の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none">○新家庭教育宣言及び「チーム荘島10条」への理解を深め、取組を推進する。○「学習の手引き」の配布・学級懇談会を通じた共通理解・認識のもと、学校・家庭の協働体制を構築する。○児童・保護者向けの学習に関する講座やアンケートを実施し、家庭の意識向上・現状認識を図る。	<ul style="list-style-type: none">○学校との連携を深め「チーム荘島10条」の具体化を図る取組を推進。○放課後学習（いちょう学習）やステップアップタイムへの地域学習支援ボランティア派遣を行う。○コミセンとの協働による地域への「チーム荘島10条」の取組を工夫し、地域への周知を行う。
提言②	<ul style="list-style-type: none">○行事や各教科等の活動において地域人材によるGTを活用することで「共感・賞賛・承認」の場を積極的に設定する。○目的に向かって取り組む過程を大切にすると共通認識のもとで協働する。○「チーム荘島10条」の取組の周知と推進。	<ul style="list-style-type: none">○学級通信や懇談会を通じて、家庭における共感・賞賛・承認の場の設定への働きかけを行う。○「家庭チャレンジ」週間の子どもへの声かけやコメント等を通じて、家庭での賞賛・承認の場の設定を行う。○「チーム荘島10条」の取組に関心を深め推進に参加。	<ul style="list-style-type: none">○いちょう学習や総合的な学習等への地域人材の紹介や積極的な参加を図る。○積極的な地域行事等への参加や協力を通して、地域と子どもがふれあう機会をつくる。○「チーム荘島10条」への協働的な取組の推進。

3 児童生徒の成長

〈年度初め〉	〈年度末〉
<ul style="list-style-type: none">① 「学習がよく分かる」の評価指数は85p + 「考えを書く、理由を付け加える」の評価指数は82.5p +② 「自分にはよいところがある」の評価指数は子ども80p +、保護者77.5p +	<ul style="list-style-type: none">① 「学習がよく分かる」の評価指数は90p + 「考えを書く、理由を付け加える」の評価指数は87p +② 「自分にはよいところがある」の評価指数は子ども85p +、保護者82p +